

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

2016年 新春を迎えて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶びいたします。また、平素より、四国地方整備局の港湾・空港行政にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月に来襲した台風11号により、徳島沿岸でも若干の被害が発生した他、チリ沖地震による津波注意報が発令される等、防災の大切さを実感した年であったように思います。一方、当事務所の事業に目を向けますと、徳島小松島港沖洲外地区の複合一貫輸送ターミナルが供用開始された他、赤石地区の徳島小松島港コンテナターミナルの定期コンテナ航路が中国まで延伸される等、港湾整備の成果が目に見える形で確認出来た年でもありました。

四国では、南海トラフ巨大地震への備えや、老朽化したインフラ対策が喫緊の課題となっており、当事務所では、撫養港海岸の堤防改良、徳島小松島港沖洲外地区の防波堤延伸、同金磯地区の岸壁改良、海洋環境整備の各事業を鋭意進めていく予定です。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

小松島港湾・空港整備事務所長 佐野正佳

TOPIX

●複合一貫輸送ターミナルの供用開始

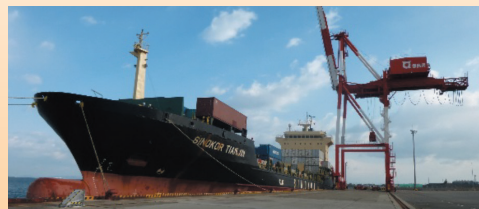
平成21年度から徳島県と四国地方整備局が徳島小松島港沖洲外地区に整備してきた複合一貫輸送ターミナル(フェリーターミナル)が完成し、フェリー運航会社の新造船「フェリーびざん」の初入港に合わせ平成27年12月26日に記念式典が開催されました。



初入港した「フェリーびざん」↑

●コンテナ定期航路が中国に延伸

徳島小松島港～韓国釜山間に週3便運行している定期コンテナ航路のうち1便が中国天津・大連まで延伸され、第1便の入港に合わせて平成27年12月4日に歓迎式典が行われました。航路延伸と合わせてコンテナ船が大型化され、最大積載個数が20フィートコンテナで約850個とこれまでの約2.5倍になり、輸送能力も大きく向上しました。



中国延伸第1便として寄港したコンテナ船「SINOKOR TIANJIN」↑

INDEX ▶

- 2016年 新春を迎えて
TOPIX「複合一貫輸送ターミナルの供用開始」「コンテナ定期航路が中国に延伸」…………… 1
- みなと報告
みなとオアシス防災訓練を開催…………… 2
- みなと通信
新しい港湾業務艇の船名を募集します…………… 4

小松島みなとオアシス防災訓練を開催 (実施主体:小松島みなとまちづくり協議会)

平成 27 年 11 月 7 日 (土) に、第 6 回「みなとオアシス防災訓練」を小松島みなとオアシス (小松島みなと交流センター kocolo) にて実施しました。

訓練は、小松島みなとまちづくり協議会の関係機関、地域住民、地元高校生など約 50 名が参加し、「NPO 法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま」出口理事長の挨拶、全体説明の後、各種訓練を行いました。訓練の様子について報告します。

参加機関一覧 (敬称略、順不同)

- 小松島みなとまちづくり協議会※
NPO 法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま
四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所
徳島県 県土整備部 運輸戦略局 運輸政策課
小松島市 産業建設部 産業振興課
その他
- 徳島県 危機管理部 とくしまゼロ作戦課
- 小松島市 消防本部 消防課
- 小松島高等学校
- 小松島西高等学校
- 北校区防犯交通地安推進会
- 元根井自主防災会
- 中田東自主防災会
- 地域住民

※「小松島みなとまちづくり協議会」とは徳島小松島港本港地区を中心に、地域資源を活用した継続的な賑わいの創出活動や、人材発掘などの地域活性化策を推進するため平成 22 年 10 月に設立された組織です。



↑ 小松島みなと交流センターkocolo



↑ 開会挨拶

訓練内容

被害想定等の情報提供 (講師:徳島県とくしまゼロ作戦課)

南海トラフ巨大地震の概要や、平成 24 年 10 月に徳島県から公表された「津波浸水想定」、平成 25 年 11 月に公表された「津波災害警戒区域 (イエローゾーン)、津波災害警戒区域図 (基準水位)」等の最新情報について、説明していただきました。

また、各家庭で今すぐ出来る災害対策として、

①自分の住んでいる地域の災害特性を知るために、今回情報提供のあった被害想定等について徳島県のホームページで確認する方法

②災害発生時の家族などの安否確認方法として、徳島県で提供している安否確認サービス「すだちくんメール」を利用する方法

についてもご紹介いただきました。

南海トラフを震源とする巨大地震では、正しく情報を理解し、地震に備えて準備することで被害を最小限に抑えることができます。そのためには、日頃から家族など周囲の人々と、地震対策について話し合うことも大切だと考えます。



↑ 被害想定等の情報提供の様子

ロープワーク(ひもの結び方)訓練 (講師：四国地方防災エキスパート※)

津波・高潮・洪水など、あらゆる水防対策の基礎となる「ロープワーク」について、訓練を行いました。

日本における「ロープワーク」は、古来から伝統技として数々の工夫がなされ、さまざまな形が考案されています。今回の訓練では、数ある中から「ほんむすび」、「ふな結び」、「かみくし(避難ロープ)」、「もやいむすび」等についての講義を受け、参加者はロープを手に練習しました。

「ロープワーク」では①早く、②簡単に、③確実に、が重要となります。災害時、短時間で確実に結べないと効果が発揮できないため、日頃から練習し自然と手が動くようになってもらえればと思います。

また、その他に防災上参考となる簡易的な土嚢作りや、ペットボトルの活用術についての説明もあり、大変参考になりました。

(※防災エキスパートとは、土木施設や防災等に関する経験や専門知識を有する技術者で、大規模災害発生時には四国地方整備局から要請を受けて、公共土木施設等の被害情報を集めて管理者等に報告する事になっています。管理者等は防災エキスパートからの情報を、被害拡大の防止や早期復旧等に役立てます。)



↑ ロープワーク訓練の様子

応急手当訓練 (講師：小松島市消防課)

地震などで負傷した人を救護する場合の応急手当の方法について、訓練を行いました。

訓練の内容としては、家庭にある物干竿のような棒状のものと毛布又は衣服を使用した応急担架を作ってけが人を運搬する方法や、三角巾を使用してけがをした箇所の止血や固定を行う方法、心肺停止した人に対して胸部圧迫やAEDを使用して蘇生を行う方法等について講義を受け、参加者は単管パイプや毛布、三角巾、心肺蘇生訓練用の人形やAEDなどを使用して、応急手当の手順を練習しました。

心肺蘇生といえば、まず人工呼吸を思い浮かべることが多いですが、口周辺から出血しているなど、人工呼吸にためらいが生じた場合は、胸骨圧迫だけでも効果があることがわかっているので、行ってくださいという説明もありました。

訓練を受けて感じたのは、けが人を見つけたら、すぐまわりに助けを呼ぶことが大切だということでした。また、近年、駅や役場、商業施設などでAEDが設置されているのをよく見かけますが、一通り手順を学んだことで、躊躇なく使用できるようになったのではないかと思います。



↑ 応急手当訓練の様子

募集 新しい港湾業務艇の船名を募集します！

国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所では、岸壁や防波堤を作る港湾整備事業や海面を清掃する海洋環境整備事業等を展開しており、港湾業務艇は工事現場等の水深調査や海上の現場までの人員運搬、海面のゴミ等の浮遊状況調査等を行っています。現在、当事務所で使用している港湾業務艇「しまかぜ」は老朽化のため平成28年7月に退役し、平成28年8月からは新しい港湾業務艇へ引き継がれることになりました。

このたびの新造船への更新にあたって、皆様方にも親しまれ愛される次世代の港湾業務艇を目指して、広く船名を募集することにいたしました。

現在の港湾業務艇「しまかぜ」



新しい港湾業務艇(イメージ)

船の大きさ

長さ: 16.5m

幅: 4.1m

深さ: 2.1m

総トン数: 19トン



応募方法

下記の項目をハガキ・FAX・Eメールに記入して応募してください(1通につき1船名とします)

- 船名(漢字の場合はふりがなを付けてください)
- 船名の理由(200字以内)
- 住所、氏名、年齢、電話番号

宛先

〒773-0001 徳島県小松島市小松島町字新港9-14

小松島港湾・空港整備事務所「船名募集」係 宛

FAX 0885-35-0010

Eメール pa.skr-kmj-m-i88s3@mlit.go.jp

募集期間

平成28年1月29日(必着)まで

選考

選考委員会で選考のうえ、船名を決定いたします(当選作品の採用にあたり、表記等の修正を加える場合があります)。

同じ船名の応募が複数あった場合は、抽選により入選者を決定いたします。

発表

入選者に直接通知します。

また、当所ホームページ等で発表します。

著作権について 応募作品による第三者への著作権侵害が発生した場合は応募者の責任とします。当選作品の著作権は当所に帰属することとします。

個人情報について 応募により入手した個人情報は本募集以外に使用されることはありません。

出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL **(0885)-32-3357**

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。